おいしい訪問記

地元に愛される味の深さとこだわり。

訪問場所　レストラン　パセリ

営業時間：11:00～15:00(L.O. 14:00)
　　17:00～21:00(L.O. 20:30)
電　話：0465-82-3902　定休日：月曜日
住　所：開成町吉田島4293
駐車場：13台（店舗隣3台、奥10台）
HP：https://www.facebook.com/KaiserRestaurantPaseri

酒匂川沿いの開成町水辺公園と、松田自動車学校をつなぐ通路沿いにあるレストラン「パセリ」。白い壁とミントグリーンの屋根が印象的なすっきりとした店構えです。

店内に入ると、重厚感のある落ち着いた空間。大切に使われた家具や柱が、店内の雰囲気を引きさ立て、爽やかな外観とのギャップが好印象でした。それもそのはず、こちらは今年で29年目、ゆっくりと時を刻んだ感があります。お客さんは、近隣の方々や遠くからカニクリームコロッケを目当てに通い続けてくれる常連さん、土日は家族連れが多いそうで、子供用の椅子も完備されています。

季節のおすすめは、しめじを添えたポークソテー。生クリームの隠し味が効いたとろりとしたソースに脂のほどよく乗った豚肉が食欲をそそり、夏バテ解消にも良さそう。定番人気の一海老と帆立のバターソースは肉厚の海鮮にレモンバターソースを絡めて味わう爽やかな一品。試食をいただいた私も、お店の優しさにほっとしました。この他、お料理ごとにファンがいるものの、オーナーがこだわり抜いたパン。ビーフシチューに合うパン職人さんが、「このシチューに合ったパンを作る！」と、毎朝焼きたてを持ってきてくれるそう。カットしただけで小麦の良い香りが広がる魅力的なパン。ビーフシチューと併せていただきたいですね。

メニュー豊富なレストラン「パセリ」。ほとんどの料理が持ち帰りOKとのこと。ホームパーティーやお飲みのおかずなど活躍シーンが多そう。魚

見てください！
落ちついた雰囲気の店内。

季節のおすすめ、ポークロース肉のソテー・パセリ風ソテ。

ビーフシチューに合うおすすめのパン。

レストラン　パセリ
ソフトドリンク1杯
または
ポイント2倍
「青色十色を見た」と伝えて頂いた方に、上記いずれかをサービスいたします。
2016.10.31まで有効

青色十色

あおいろといろ　No.157　九月号

よりみち日和。

9月、子供たちの夏休みが終わった箱根登山線の車内は、遅めの夏休みを満喫する大人たちとバカンスを楽しむ海外からの観光客で賑わっています。スイッチバックを経て登っていく登山電車に揺られて強羅に到着。ケーブルカーの開通にワクワクしてしまうのでしょうか。駅を出て、高地の涼やかな風を感じみなから少し歩くと、一早雲箱根焼陶芸工房。夏の終わりの爽やかな空気に、ひんやりとした粘土が心地よい午後でした。

今日の一枚
山の上まで運んでくださり、ご苦労様です。

01 箱根登山電車 はこねとざんでんしゃ
箱根湯本駅～強羅駅

大正8年に開業した国内有数の本格山岳鉄道です。上の写真は1999年登場の2000形「サン・モリッツ号」。個人的におすすめは2014年デビューの3000形「アレグラ号」です。今回は乗れなかったので写真が無いのが悔やまれますが…。車体の赤は和の伝統色「緋色」と「藍色」をベースに製作した「パーミリオンいこね」というオリジナルカラーだとか。従来車両より大きな窓ガラスで、箱根の絶景が楽しめます。運転席後方にある展望窓はなんと足元まであって、迫力満点です。

強羅駅にある今は廃車となったモハ1形の模型

02 強羅駅 ごうらえき
足柄下郡箱根町強羅1300-329

箱根登山電車とケーブルカーが発着する強羅駅は、ログハウス風の外観が特徴的。ホームには、箱根登山鉄道と姉妹提携しているスイスのレーティッシュ鉄道から贈られた「友好のカウベル」が飾られています。よく見ると中の形をしていて、これまた可愛い。贈られた当時には発車の合図をこのカウベルでしていた時期があったそう。聴いてみたかったな、と見上げた次第です。

03 早雲箱根焼　陶芸工房 そううんはこねやき　とうげいこうぼう
営業時間：10:00～17:00
TEL：0460-87-0335　箱根町強羅1300-315

強羅駅を出て歩いてすぐ、踏切の向かいに「強羅公園」と掲げられたアーチをくぐって少し坂を登ると、無垢の木の看板に「陶芸工房」の文字が見えます。「早雲箱根焼　陶芸工房」は、陶芸体験の工房。予約制ではないので、手ぶらでふらりと立ち寄れます。明るい工房内にはずらり並んだ作業台。奥には電動ろくろの作業スペース。工房の壁際の棚にはオーナーの作品が並んでいて、見事な出来に思わず目が行きます。

陶芸体験は、手回しろくろ（1800円～）、電動ろくろ（2500円～）から選べ、作る物の大きさ＝使う粘土の量で価格が変わります。何を作るか決めて席に着いたら、基本的な粘土の扱い方を教えてもらい、じっくりと創作タイム。しかもなんと、時間制限なし。体験教室は60分等の制限を設けている工房がほとんどですが、こちらでは途中でタイムアップせずとことなく、心行くまで作品作りに没頭できます。仕上がりの色を決めて、作業終了。大切な作品が焼くときに割れてしまわないように乾燥時間をかなり長くとるので、完成品が自宅に届くのは約2ヶ月半～3ヶ月後。大事な旅の思い出だから丁寧に、お客様のことを大切にするオーナーのお意気が伝わります。箱根出身のオーナーは、実は窯町時代から続く陶芸家・雲林院宝山十九代目の孫さん。京都の伯父（二十代目雲林院宝山）のもとで修行の後、丹波立杭焼の窯元に従事。平成19年に箱根へ戻り、この地で陶芸工房を始めました。自宅に届いたお皿に料理を盛って写真を送ってくれた方、毎年箱根を訪れるたびに作品を作っていく方、近隣に住む常連さん、海外からの方一多くの笑顔と思い出を焼き上げて、今年で8年目です。

家族と、大切な人と、時間も気にせず粘土に思い出を練り込むひととき。後日届いた陶器を手に、思い出を振り返るひととき。旅の間にも、旅の後にも、ゆっくりとした素敵な時間を演出してくれるスポットです。

かわいい！
オーナーの作品です。

青色読者様にご来店特典！
「青色十色を見た」で
8％ＯＦＦ　2016年12月31日迄

無敵な思い出、製作中！

小田原青色申告会のホームページとフェイスブック、是非ご覧ください！

様々な活動やリアルタイムな情報も掲載しています。確定申告時期以外もお見逃しなく。

やさしい、web版創業体験談
創業の先輩から動画で学べる！
ホームページで公開中！

創業者の語さんに創業時の体験談をインタビューし、動画と文章にまとめました。創業をお考えの方、創業して間もない方の、一歩先のヒントとしてご活用いただければ幸いです。

ホームページ　フェイスブック
「いいね！」お願いします

防災特集　備えあれば憂いなし！

9月1日は関東大震災にちなんで設定された防災の日です。また、9月上旬は台風の襲来が多いとされています。地震の頻発も懸念される昨今。防災対策を確認しておきましょう。

避難場所・避難所を確認！
各自治体のホームページで調べられますので、確認しましょう。

非常持出袋を準備！
携帯ラジオ・電池式携帯充電器・ナイフ・懐中電灯・救急用品や薬・非常食・飲料水は基本として、その他あると便利なものを以下に紹介します。
メモ帳と筆記用具／ティッシュ・ウェットティッシュ／ひざかけ／合羽／お薬子等嗜好食品／生理用品／マスク／カイロ／ラップ／消毒用アルコール／紙コップ・紙皿／ビニール袋／好きな本

屋内の危険個所をチェック！
大型の家具には転倒防止を、ガラスには飛散防止フィルムを貼ると安心です。またドアや出入口になる窓の前に物を置かないように、寝室に転倒のおそれのある家具を置かないようにしましょう。

家族防災会議！
有事の際の連絡方法、役割など、家族で打ち合わせをしましょう。

地域のお店の情報満載！
どこどこ
検索機能がパワーアップ！もっと便利に！
小田原青色申告会の地元密着検索サイト
どこどこ 小田原　検索
神奈川県西2市8町を中心としたお店を掲載。豊富なカテゴリーとお得情報満載です！